

平成 22 年度第 2 学期入学者入学式

新入生の皆さん、筑波大学へ入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんを心より歓迎し、お祝い申し上げます。また、ご両親をはじめとするご家族の皆さん、関係者の方々にも心よりお祝いを申し上げます。

筑波大学は歴史的に二つの側面をもっています。一つは東京教育大学を前身とする 140 年近い歴史と伝統を誇る総合大学という側面です。もう一つは、日本が豊かな時代になってから、歴史と伝統の上に新しい総合大学として生まれ変わったという側面です。現在はあらゆる領域で変革と再生の時代を迎えています。すでに 1973 年に、先駆的に私たちは大学に対する新しい考え方を取り入れて、多くの期待や夢をこめて、東京教育大学から現在の筑波大学へと発展し、自然あふれる環境都市、筑波の地に移りました。本学はあらゆる面で「開かれた大学」となることを目指し、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを建学の理念として、我が国における大学の改革を先導してきました。このように本学は、理想の大学を目指して、常に新しいことに挑戦し、新しい領域を開拓する精神を尊重しています。そして、学生の視点に立ちながら、質の高い教育・研究を通じて先端的・独創的な知を創出し、個性豊かな人材を育成することを使命としています。教職員はこの誇りと使命を皆さんと共有することにより、皆さんを心から応援したいと考えています。そして、この魅力ある筑波キャンパスを中心とした創造的かつ個性的な大学文化を発展させ、皆さんとともに筑波ブランドを成長させていきたいと考えています。開かれた大学として、学び、考え、想像して未来を開く視点から、筑波らしさを IMAGINE THE FUTURE. と表現しています。

皆さんは多くの夢と期待に胸を膨らませて、筑波大学キャンパスでの大学生活を始めます。筑波大学は都心から 1 時間以内でありながら、広大な自然に囲まれていることが都会の大学とは一線を画す特長の一つとなっています。この緑深いキャンパスはわが国の大学ではとりわけ美しく、自然にあふれており、皆さんにとってこれからの魅力あるキャンパスライフの基礎になることと確信しています。筑波大学キャンパスの風景を楽しみながら、都会の喧騒とは縁のない静かなキャンパスをじっくりと実感してみてください。人は集中して緊張することも大事ですが、リラックスによって肉体的にも、精神的にもバランスをとることが可能となります。この美しいキャンパスで、緊張だけではなくリラックスも意識して大学生活を始めてください。この緑の多いキャンパスは、皆さんがのびのびと考え、新しいことに挑戦する力を養う貴重な環境を醸成しています。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。その可能性を常に意識して、充実した大学生活を送ることを期待しています。

この広大なキャンパスには世界各国から、また全国各地から多様な学生が集っていることも本学の特色であり、本学はグローバル30の拠点校として、国際色豊かな大学、多様な価値観を尊重する大学、男女共同参画を推進する大学として発展しています。留学生数は国立大学の中では2番目に多く、国際研究学園都市TSUKUBAの中核をなしています。総合大学としては他に例を見ない幅広い学問分野を有しており、専門分野を深化させながら、学際・融合的な教育研究を積極的に展開し、数々の研究成果を挙げるとともに国際的研究・教育拠点としての高い評価を得ております。ノーベル賞受賞者の朝永振一郎博士、江崎玲於奈博士、白川英樹博士の三氏が本学関係者であり、朝永振一郎博士は1965年にノーベル物理学賞、江崎玲於奈博士は1973年にノーベル物理学賞、白川英樹博士は2000年にノーベル化学賞を受賞しています。本年が生誕150周年に当たる嘉納治五郎氏は、本学の前身である東京高等師範学校の校長を23年にわたり務め、教育者として自他共栄の教えを全国に広めました。この自他共栄の教えは、最近よく言われるWin-Winの考え方やコミュニケーション能力を先駆的に示しており、持続可能な成熟社会を目指すグローバル時代には皆さんに是非理解してもらいたい私たちの先輩から受けついで考え方です。そして、オリンピックでは本学の多くの著名なアスリートが、金メダルを含めた数多くの実績を残しており、わが国のスポーツは筑波大学とともに発展してきたと言っても過言ではありません。

さて、皆さんは多くの可能性を秘めて、大学でこれからの人生を準備することになります。じっくりと、いろいろな経験を大学生活の中で重ねながら、見聞を広め、人生の準備を進めてください。新しい経験は皆さんのこれからの人生を必ず豊かにします。私は筑波大学の校風は自由で、のびのびとしていて、権威主義的ではないと感じています。新しいことに関心を持ち、開拓していくフロンティア精神に富んでいるともいえます。元来、大学では教員と学生の対話が重視されてきたという長い歴史があります。大学生活の中で皆さんが抱いた関心や疑問を躊躇せず自主性を発揮して、先生や先輩にぶつけてみてください。教員や友達と対話し、議論することが皆さんの考える力や表現力、想像力を育てることになるでしょう。IMAGINE THE FUTURE. を実践してください。表現力や想像力が育てば、学び、考えていることを十分に発信し、リーダーシップを発揮しながら、質の高い交流やフラットな良いチームワークも可能になります。自主性やフラットなチームワークの尊重はこれからの成熟社会の大事な取り組みと考えてください。物事の本質を見極め、じっくりと考えながら、筑波大生としての個性を確立してください。そのためにも、自分の目指す領域のみならず、幅広い領域にも是非、関心を持って教養を深めてください。幅広い教養は知識を広げるのみならず、健全な意欲や柔軟な思考、思いやりに富む、品格のある社会人としての基本になります。

現代は変化、変革や成長を求めています。わが国でも地球環境の問題、経済危機の問題、雇用の問題などで変化、変革、成長が求められ、私たちも知の拠点として積極的に取り組むべきと考えてい

ます。皆さんには世界の抱える課題の解決に向けて科学的にかつタフに叡智を発揮することを期待しています。解決困難な課題を抱える変革の時代にはタフさが求められますが、そのタフさには、知識、七転び八起きの精神の上に、合理的思考や幅広い教養、多様な経験、コミュニケーション能力、想像力が含まれます。特に皆さんには新しい付加価値を生み出すような想像力を発揮してもらいたいと願っています。次の時代がどうなるか、どうあるべきか、大胆に思いをめぐらして、新時代を開拓してください。IMAGINE THE FUTURE. を思い描いてください。そして、私たちが挑戦する課題は地球レベルの問題ですから、世界の人たちの考え方やスタンダード、生活、文化を知り、世界の人たちと国境を越えて時代や想いを共有して、連携することが、世界的な課題を解決する基本であると感じています。語学力をつけることや海外からの留学生との交流のみならず、積極的に海外留学に挑戦して、見聞を広げてください。

世界はグローバル化し、膨大な情報は瞬時に世界を駆け巡り、変化の激しいこと、将来の道筋が不透明なことに多くの人たちが戸惑っています。私たちはその変化を恐れることなく、変化に対してしっかりと準備をするとともに、私たちは勇気をもって、これからの変革の時代に臨み、現状維持よりは挑戦、対立よりは共感、しがらみよりは柔軟に、しばし自由に考え抜くことにより、時代や想いを共有しながら、新しい成長・発展の芽を育てていきたいと考えています。変革の時代であるからこそ、若い、柔軟な発想を持った皆さんには多くの活躍する機会が早くから訪れるはずです。皆さんにはのびのびと想像力を発揮して、社会の多様なニーズに共感し、果敢に新しいことに挑戦してもらいたいと思っています。多様なニーズがあるからこそ、まず、小さな挑戦や自らを見つめなおすこと、自らの殻を破ることから始めてみることです。苦手なことを克服することも大学時代にすべき大事な挑戦です。そこから思った以上に必ず新しい展開、より大きな考え方や創造的な成長が生まれます。そして、周囲の共感も大きくなり、視野が広がり、将来の道筋が見え始めることがしばしばあります。若い時代にこそ、敏感に時代の変化を感じ、想像して、正面から問題の本質を見抜き、問題解決に向けて自主的に考え、行動することを期待しています。

本学では、高度で先進的な研究に裏打ちされた教育を通じて、学生の個性と能力を最大限に開花させ、人の心を思いやる豊かな人間性とタフな知力を蓄え、国際的に活躍できる人材を育成することを目標としています。皆さんの未来への夢を、筑波大学キャンパスを起点として、是非実現してもらいたいと思っています。IMAGINE THE FUTURE. 次のようなメッセージを社会へ発信しています。

想像しよう、未来を。

地球の、環境の、社会の、未来を。

想像できなければ、創造はできない。

この星の未来は、失敗できない。

創造しよう、未来を。

共に生き、持続できる、開かれた未来を。

その扉をあける、挑戦者になろう。

皆さんが着実に実力を蓄えて、飛躍し、筑波らしさをのびのびと表現することを心から期待して、私の式辞とします。

平成22年8月7日

筑波大学長 山田信博